

有権が市に帰属することを明確にすることで、窃盗罪が適用される。

その結果、市と警察との連携も強化され、これが持ち去り行為に対する大きな抑止力になると考えられることから、罰則規定は盛り込まなかった。



ポタリング行田2015

○平成27年度行田市一般会計予算について

問 多面的機能発揮促進事業補助金の具体的な内容は。

答 現在、農業者の高齢化や担い手不足の影響で、農地、農道及び用排水路などの管理が社会問題になっている。そのため、国では「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」が本年4月1日から施行され、地域ぐるみで農地、農道及び用排水路など

の適切な保全管理を実施していくこととされた。

本交付金は、そういった活動を行う地域団体に交付されるもので、現在活動中の9地区に加え、平成27年度から活動を予定している4地区の、併せて13地区に対して交付する予定である。

問 平成27年度の不用道路敷・水路敷の売却見込みと今後の取り組み方針は。

答 現在、10㎡以上占用している土地が67箇所あり、平成27年度においては、その中でも比較的大きな面積を占用している会社等を中心に売却を進めていく予定である。

今後は、各箇所の実情を踏まえ、土地を一体利用できることの有用性を説明しながら、積極的に売却を進めていきたい。

健康福祉常任委員会

当委員会では、付託を受けた7議案及び総務文教常任委員会から審査依頼を受けた1議案について審査を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

○行田市学童保育室設置及び管理条例の一部を改正する条例について

問 みずしる学童保育室が新設されるが、対象となる小学校はどこか。また、対象校の送迎支援は解消されるのか。

答 対象校は、南小学校と中央小学校で、南小学校については、入室申請者が多く、他の学童保育室に送迎支援が必要な状況である。

問 余裕教室等を利用した学童保育室の設置の考えはあるか。

答 国の放課後子ども総合プランなども示されており、余裕教室等の利用について教育委員会と協議を行っていく。

○行田市歯と口の健康づくり条例について

問 条例を制定する理由は。

答 歯科医療体制を順次整えていくこと、また、生活習慣病の対策等における医師と歯科医師の連携の推進などを図ることにより、健康で質の高い生活を送る上での基礎的要素の一つである歯の健康保持について、格差なく、誰でも安心して歯科口腔の推進が図られるよう、その基盤を確実

に整備するためである。
○平成27年行田市一般会計予算について

問 緊急通報システムの変更内容は。

答 現在、N-TTと緊急通報装置の契約を結んでいるが、アナログ回線のみ対応となっている。

平成27年度から、デジタル回線の対応を含め、利用者にとって利便性の高い業者の選定を図っていく。

なお、機器は引き続き現在のものを使用する。

問 ホームスタート事業の内容は。

答 「きつぷプラザあおい」に、訪問相談員を配置し、相談業務を行うほか、電話相談の状況により、訪問の必要性



みずしる学童保育室

がある方には、訪問するなどの支援も行う。

問 子育て包括支援センターの事業内容は。

答 妊娠時から出産、その後の子育てに至るまでの中で、悩みを抱える方に対し、さらなる支援の充実が求められているため、専門的知識を持った助産師2名を配置し、より綿密な支援を行う。

また、子育てに関する情報を集約し、一貫した情報提供を行う。

議会運営委員会

2月20日に3月定例会運営のための委員会を開催し、会期日程、議案及び請願の取り扱いなどについて協議しました。その際、一般質問の発言順序をくじにより決定しました。

また、2月26日には議会運営に関すること、3月6日には付託を受けた請願1件の審査、さらに3月23日には追加議案等の取り扱いについて協議しました。

なお、本会議終了後に、3月定例会の総括を行いました。